

令和3年度 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【小規模多機能ホーム 里山】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年7月16日(17:30 ~ 19:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	新規開設のため前回の改善計画なし
前回の改善計画に対する取組み結果	新規開設のため前回の改善計画なし

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	7	3	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	7	3	1	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	5	2	1	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	5	3	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・基本的な情報に加え、支援の方向性や注意点をミーティング時やカンファレンで確認できている。 ・事業所に来られている時の情報だけでなく、自宅でどう過ごされているのか、ご家族から情報を収集し、職員間で共有するようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・計画作成担当者が作成した新規利用者の基本情報の読み込みが不十分である。新規の利用者が不安であることは理解しているが、話を膨らますことが苦手で、他の職員に任せてしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
初めて利用される方は不安が大きいことを理解し、初日は担当者もしくは日直が利用者の不安を軽減するために寄り添いながら対応する。利用者のことをこちらが理解するだけでなく、職員のことでも理解していただくために、職員の写真とプロフィールを書いた、職員カードを本人と家族にお渡しする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年7月16日(17:30 ~ 19:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
新規開設のため前回の改善計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
新規開設のため前回の改善計画なし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	4	5	0	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	5	4	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	5	1	11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	1	7	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・計画作成担当者が、利用前に本人や家族から聞き取りを行い、本人と家族が望む生活を確認し、職員に周知した。また、利用開始以降も、職員が知り得た情報を計画作成担当者に伝え、目標の変更やプランの見直しを行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・その日の支援が手一杯で、長期的な目標に対する支援ができていないように感じる。 ・認知症ケアに自信がなく認知症の方の「～したい」気持ちを汲み取ることができていない。職員によっては、プランの実行が(例えば歩行訓練など)できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・長期目標を達成するための短期目標であることを理解し、計画作成担当者と利用者の担当職員が協同でモニタリングを行い、本人視点での「～したい」を捉え、担当職員が他の職員にも説明ができるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年7月16日(17:30 ~ 19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
新規開設のため前回の改善計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
新規開設のため前回の改善計画なし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	5	3	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	7	1	1	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	3	6	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	7	1	1	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	6	2	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用開始時に、身体状況に合わせて介助方法を確認している。 ・支援内容などプランの変更についてマーカーで印をつけて職員間で情報共有できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・体調の変化や排便状況の把握やそれに対する対応や配慮が後手になることがある。 ・利用開始時に移動や移乗、トイレや入浴時の介助方法を職員間で確認するが、状態の変化に合わせて見直しできていないことがある。介助方法の統一ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・体調や身体機能の変化に合わせて、介助方法の見直しを行い統一したケアを行う。 (介助方法を動画に撮り、全職員が確認する)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年7月16日(17:30 ~ 19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	新規開設のため前回の改善計画なし
前回の改善計画に対する取組み結果	新規開設のため前回の改善計画なし

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	4	3	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	5	2	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	3	3	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	1	5	4	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者の家族だけでなく、民生委員や近隣住民の協力を得ながら支援できた。・キーパーソンの家族以外の家族にも配慮を行い、家族関係についても職員間で情報共有できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍で、地域行事や活動の制限があり参加ができなかった。・基本情報や連絡帳を確認し、自宅での過ごし方をイメージできるが、自動車の運転ができなかったり、働き方によって自宅に訪問できていない職員がおり、職員全員が自宅での状況を把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・コロナ対策を徹底したうえで、可能な地域活動に参加し、連携や協力いただける体制を整備する。・利用者と家族に了解を得た上で、自宅の環境の写真を撮らせて頂き、全職員が自宅での生活イメージができるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年7月16日(17:30 ~ 19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	新規開設のため前回の改善計画なし
前回の改善計画に対する取組み結果	新規開設のため前回の改善計画なし

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	0	6	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	1	1	2	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	8	2	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	4	3	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の状態変化や家族の生活スタイルに合わせて「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを柔軟に提供することができた。 ・日報や連絡帳を見て、日々の状態を確認し注意点を共有しながら対応できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・何が本人にとって地域資源になるかを職員間で共有できなかった。 ・地域資源がどういうものかを理解できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者を中心とした生活の中で、地域で活用できる資源を計画作成担当者と担当職員で確認し、他の職員にも情報提供する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年7月16日(17:30 ~ 19:30)

6. 連携・協働

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
新規開設のため前回の改善計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
新規開設のため前回の改善計画なし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	3	2	5	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	1	1	7	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	3	7	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	2	8	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・包括支援センターや地域のサービス事業所、利用者やその家族と共に認知症カフェを開催することができた。 ・利用者の孫とひ孫が来所し、近所の公園まで散歩し交流されることがあった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・運営推進会議についてはコロナウイルスの感染状況を踏まえ書面での開催しかできなかった。 ・運営推進会議等を活用し、災害時の協力依頼や訓練を実施予定であったが、できなかった。 ・全職員が認知症カフェなど地域での活動に参加できているわけではない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・認知症カフェ等、地域活動の開催協力を継続する。 ・運営推進会議を活用し、災害時の協力依頼と体制作りを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年7月16日(17:30 ~ 19:30)

7. 運営

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
新規開設のため前回の改善計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	3	4	3	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	0	3	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	1	6	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	0	2	8	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">利用者や家族の意見や希望を連絡帳や朝礼で周知し、対応や対策をその都度検討することができた。コロナウイルスの対策を行いながら、地域住民に認知症を身近に感じて頂き、認知症になっても安心して生活ができる地域を目指し、認知症カフェの開催を行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">報連相がタイムリーにできず、対応が遅れることがある。苦情に繋がりを、忘れ物や伝達忘れがある。(職員間の申し送りの徹底不足)	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">運営推進会議を活用し、地域ニーズを理解し、色々な面で協力し合える地域体制を整備する。チェック表や職員間の申し送り帳の活用など、チェック体制を強化する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年7月16日(17:30 ~ 19:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
新規開設のため前回の改善計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
新規開設のため前回の改善計画なし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	4	2	2	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	1	6	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	0	9	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	6	0	3	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎月の職員ミーティングを活用し、認知症ケアや感染対策等の研修を行った。 ・ヒヤリハット報告書を提出することで、危険を認識し、事故の対策を速やかに行うことができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・全職員が地域との連絡会や活動に参加できているわけではない。 ・職員一人ひとりの課題解決のために必要な研修への参加が研修の開催中止等でできなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・管理者が定期的に職員と面談を行い、取得したい資格や希望する研修を確認し、動画やWEB開催の研修にも積極的に参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年7月16日(17:30 ~ 19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
新規開設のため前回の改善計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
新規開設のため前回の改善計画なし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	4	0	0	11
②	虐待は行われていない	7	4	0	0	11
③	プライバシーが守られている	2	9	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	2	1	8	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	5	1	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や高齢者虐待の内部研修を実施し、発生を予防している。 ・個人情報については鍵付きの書庫で管理できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・丁寧な言葉使い、対応を心掛けているが、不適切な言葉を使っていることがあるかもしれない。 ・現時点で対象者がいないため、成年後見制度の活用はできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者同士が安心して過ごせる環境の設定と平行して、一人ひとりのプライバシーを配慮した環境にも配慮する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	理事長 菅原 哲雄	法人・事業所の特徴	「共に支え 共につくり 共に暮らす」という法人の理念のもと、令和2年10月に松山市鷹子町に開設した事業所です。利用者とその家族の生活スタイルに合わせ、「訪問」サービスを効果的に活用し、「通い」「宿泊」のサービスを柔軟に調整することで、安心して自宅での生活が継続できるよう職員一同、取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能ホーム里山	管理者	上山 晃		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	3人	1人	2人	11人	0人	20人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	新規事業所のため 前回の改善計画なし		・感染対策をしっかり行いながら、職員間でしっかりとコミュニケーションをとり、意見を出し合って取組みを行ってほしい。	・普段から職員間で意見を出し合い、改善計画の進捗状況を確認する。 ・運営推進会議で、事業所の改善計画の取組みについて報告する。
B. 事業所のしつらえ・環境	新規事業所のため 前回の改善計画なし		・コロナウイルスの感染拡大により事業所に足を運ぶ機会が少なかった。 ・利用者やその家族だけでなく、地域住民が介護の相談に来やすい雰囲気を目指してほしい。	・利用者だけでなく、家族や地域住民が相談に来やすい雰囲気作りを行う。 ・音や匂いに配慮した空間作りと、自宅での過ごし方に配慮した環境設定を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	新規事業所のため 前回の改善計画なし		・お祭りなどの地域行事にも積極的に参加し、地域住民にも事業所を知ってもらえると良いのではないかと。	・感染対策を徹底した上で、地域の行事やイベントに参加し、事業所の周知、広報を行う。 ・事業所周辺の清掃を行い、地域住民と気持ちのよい挨拶を交わす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	新規事業所のため 前回の改善計画なし		・地域住民に対する介護力や認知症対応力のアドバイスや指導をしてほしい。	・認知症カフェや認知症サポーター養成講座を実施し、地域の介護力向上を図る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	新規事業所のため 前回の改善計画なし		・地域の課題共有し、安心して過ごせる地域作りに取り組んでほしい。	・地域の課題共有と、見守り等の協力体制作りを行う。
F. 事業所の防災・災害対策	新規事業所のため 前回の改善計画なし		同じ鷹子地区の医療機関や介護サービス事業所で、災害時の協力体制の整備や助け合いができればと思います。	・運営推進会議等を活用して、防災や避難訓練に地域の方々にも参加していただく。 ・鷹子地区の医療機関、介護サービス事業所と災害時の協力体制を整備する。

